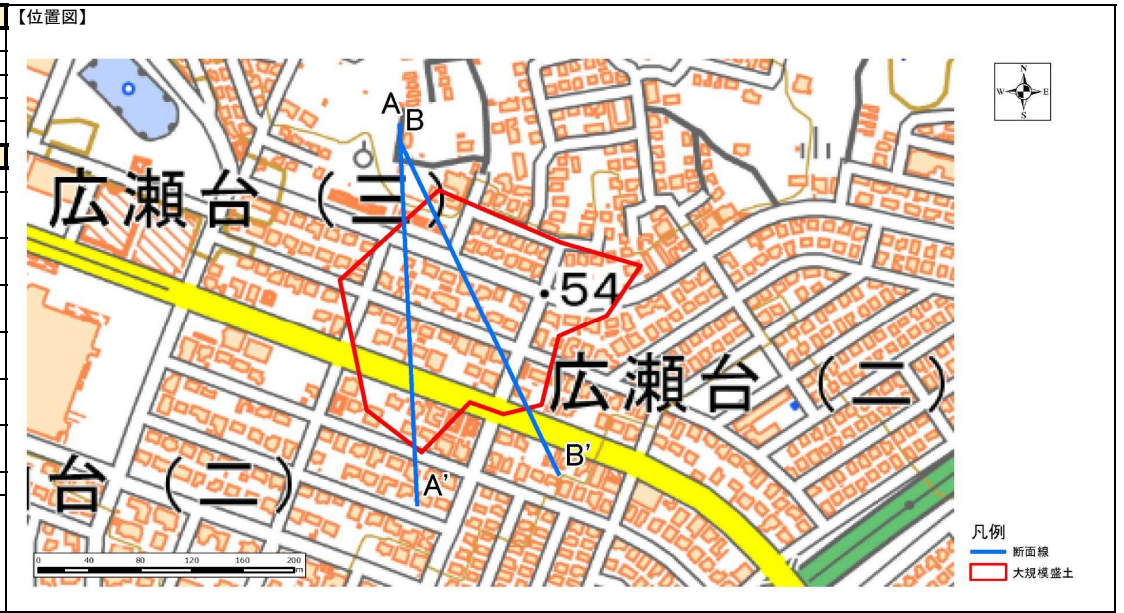
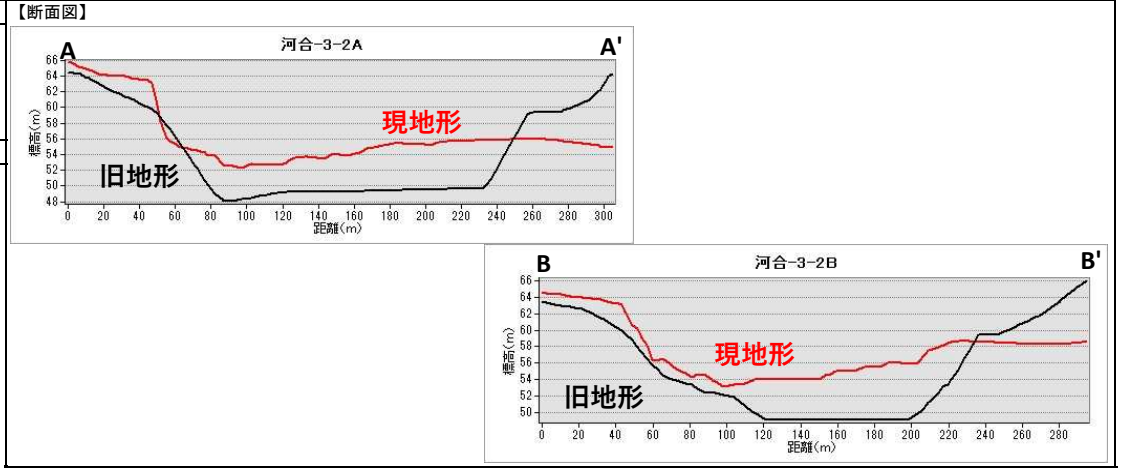


宅地概要 (第一次スクリーニング結果)						
盛土番号	河合-3-2	宅地名	広瀬台、中山台	造成(許可)年代	S41~S51	
所在地住所	河合町広瀬台1丁目、広瀬台2丁目、広瀬台3丁目、中山台2丁目、大字大輪田					
盛土形式	<input checked="" type="checkbox"/> 人工造成地 ( <input checked="" type="checkbox"/> 谷埋め型 ) <input type="checkbox"/> 腹付け型 ) <input type="checkbox"/> 自然斜面					
盛土形状	盛土面積A	401870 m <sup>2</sup>	盛土幅W	437 m	盛土距離d	660 m
	盛土高さH	10 m	盛土厚さD	m	元地盤勾配α	1°



宅地概要 (第二次スクリーニング計画の作成)		
優先度評価項目	判定	記事
① 盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	<input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当	
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
③ 地下水	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 可能性有	
④ 盛土の下の不安定な土層	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明	
⑤ 造成年代 (基準年以前/以後)	<input checked="" type="checkbox"/> 以前 <input type="checkbox"/> 以後	
⑥ 変動確率	<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小	

【総評】	<p>規模の大きな宅地造成地の一部である。盛土の末端部は区域の北側となるが大規模な土留め構造物は無く、すりつき型の谷埋め型盛土である。盛土内には戸建ての住宅が建ち並んでおり、目立った変状は見られない。また、盛土内に出水の痕跡は見られない。連続性の高い変状や、変状の集中域等が見られないことから、盛土全体が不安定化するような兆候はない。造成年代は基準年以前である。以上より、当該箇所の優先度は「B3」と評価した。想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつき形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変状」が想定される。</p>	<p>想定被害形態</p> <p>地形的要因により崩壊には至らない変状</p>
	<p>優先度</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B3</p>	



宅地概要 (第二次スクリーニング)					
【地盤定数】			【安定計算結果】		
	代表N値	単位体積重量 (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 (kN/m <sup>2</sup> )	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)
盛土					
地山					

変動予測調査後	
【工事の記録】	
【点検の記録】	

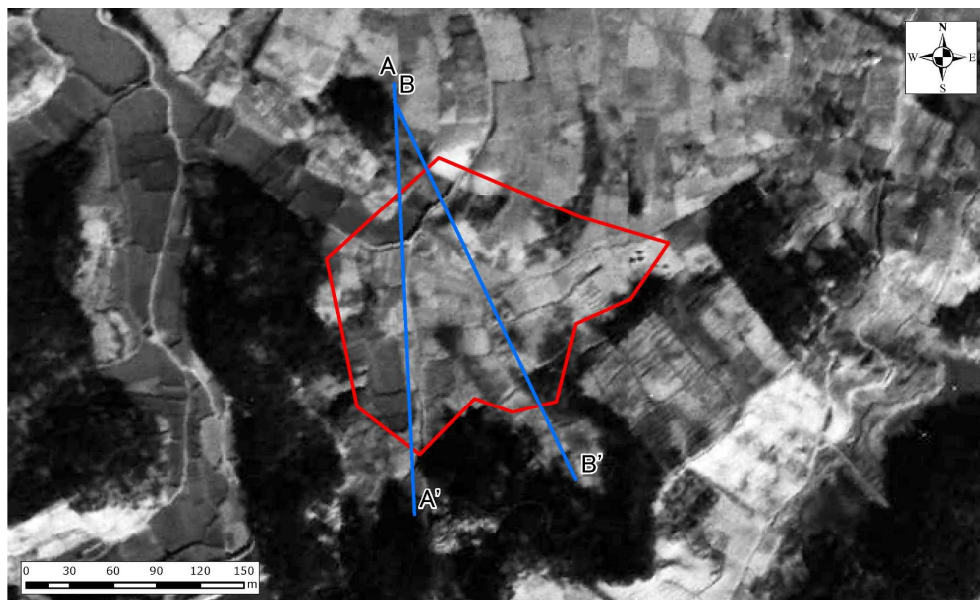
【総評】	
------	--

宅地カルテ（第一次スクリーニング結果）

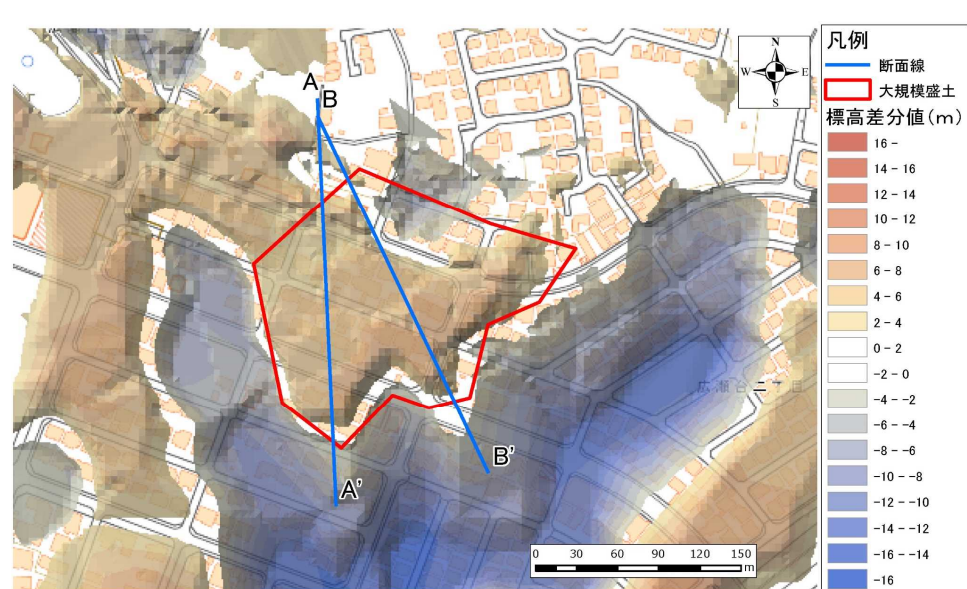
様式2

盛土番号	河合-3-2	宅地名	広瀬台、中山台	造成年代	S41~S51	盛土形状	盛土面積A	401870 m <sup>2</sup>	盛土幅W	437 m	盛土距離d	660 m	天端幅（腹付け型）L	m
所在地住所	河合町広瀬台1丁目、広瀬台2丁目、広瀬台3丁目、中山台2丁目、大字大輪田					盛土形状	盛土高さH	10 m	盛土厚さD	m	原地盤勾配α	1 °		
盛土形式	■ 人工造成地（ ■ 谷埋め型 □ 腹付け型 ） □ 自然斜面					特記事項								

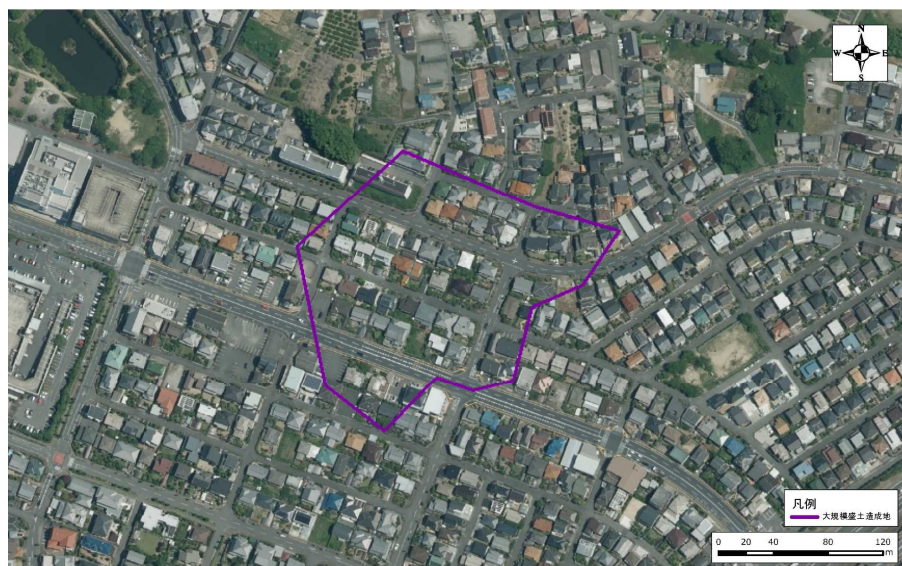
【背景（昭和21年度航空写真）】



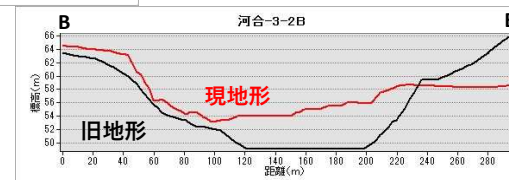
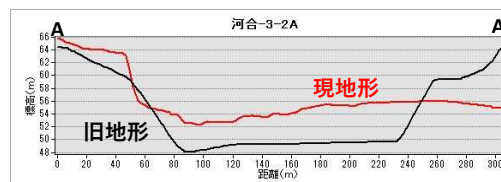
【差分図（背景現地形図）】



【空中写真】



【模式断面図】





宅地カルテ（第二次スクリーニング計画の作成（1））

様式3

基礎資料整理			現地踏査								
チェック項目	判定	記事	調査日時		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
・住宅 ・住宅公共施設等 ・その他特記事項	■ 有 □ 無 ■ 有 □ 無 —	( 91 ) 軒 ( 集合住宅4棟24軒 ) <input type="checkbox"/> 避難所 ( ) <input type="checkbox"/> 緊急輸送路 ( 県道36号天理王寺線 ) <input type="checkbox"/> 河川 ( ) <input type="checkbox"/> 鉄道 ( )	2022年11月7日	9:30	降水量 (mm)	0	0	0	0	0	0
・各種指定の有無 ・その他特記事項	■ 有 □ 無 —	<input type="checkbox"/> 宅地造成工事規制区域 <input type="checkbox"/> 災害危険区域 ■ 人口集中地区DID <input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 <input type="checkbox"/> 急傾斜地崩壊危険区域 <input type="checkbox"/> 砂防指定地 <input type="checkbox"/> 地すべり防止区域	調査日		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前
優先度評価項目			判定 (記事)								
⑤ 基準年代 ( S43 )			① ・盛土のり面勾配 <input type="checkbox"/> 急 <input type="checkbox"/> 適 勾配 (1: ) ( のり面構造ではない )								
⑥ 変動確率			・小段の設置 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 適 高さ ( )m 段数 ( )段 (小段なし) ・のり面保護工の設置 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 適 ( のり面構造ではない ) ・ひな壇部分の傾斜 <input type="checkbox"/> 急 ■ 適 傾斜角 ( 1 )° ( ) ・擁壁構造の適格性 <input type="checkbox"/> 不適 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート構造 <input type="checkbox"/> 無筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 練積造 <input type="checkbox"/> その他 ( 擁壁構造ではない ) 高さ ( )m 壁面勾配 (1: )								
【平面図】			・その他特記事項 — ( ) ② 宅地地盤・亀裂、沈下、隆起 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) 擁壁盛土のり面 ・擁壁とその基礎の変状 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・擁壁背面の変状 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・擁壁の補修履歴 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・ガリ侵食跡 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・表面の不陸又は凹凸 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・亀裂 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・排水溝の変状 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) その他 ・災害痕跡 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・根曲り <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・道路の変状 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・その他特記事項 — ( )								
			地下水 ③ ・盛土のり面からの湧水 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・擁壁水抜き穴からの恒常的な出水 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・ひな壇部分の擁壁前面部の出水 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・排水工や擁壁の恒常的な湿り <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・盛土のり尻排水工の水没 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・排水工の目地・亀裂からの地下浸水 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・盛土のり尻のため池等の満水位 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・既存井戸水位 <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 ( ) ・盛土のり尻の調整池・ため池 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・集水地形上の盛土 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・盛土上ガレージの湿り <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・水を好む植生の有無 <input type="checkbox"/> 可能性有 ■ 無 ( ) ・その他特記事項 — ( )								
			④ 盛土周辺の崖錐、崩積土 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ■ 不明 盛土層下 ・盛土周辺の沖積粘性土 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ■ 不明 ・盛土周辺の沖積飽和砂質土 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ■ 不明 ・その他特記事項 — ( )								
			規模の大きな宅地造成地の一部である。盛土の末端部は区域の北側となるが大規模な土留め構造物は無く、すりつき型の谷埋め型盛土である。盛土内には戸建ての住宅が建ち並んでおり、目立った変状は見られない。また、盛土内に出水の痕跡は見られない。連続性の高い変状や、変状の集中域等が見られないことから、盛土全体が不安定化するような兆候はない。造成年代は基準年以前である。以上より、当該箇所の優先度は「B3」と評価した。 想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつき形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変形」が想定される。								
			被害形態								
			地形的要因により崩壊には至らない変形								
優先度											
B3											



写真1 盛土末端付近の状況



写真2 盛土末端付近の状況



写真3 中央部 土地利用状況



写真4 中央部 土地利用状況



写真5 中央部 土地利用状況



写真6 中央部 土地利用状況



写真7 北東側境界付近の土地利用状況



写真8 東側境界付近の土地利用状況



写真9 中央部 土地利用状況



写真10 南西側境界付近の土地利用状況



写真11 南西側境界付近の土地利用状況



写真12 南東側境界付近の土地利用状況



写真13 中央部 土地利用状況



写真14 頭部 土地利用状況

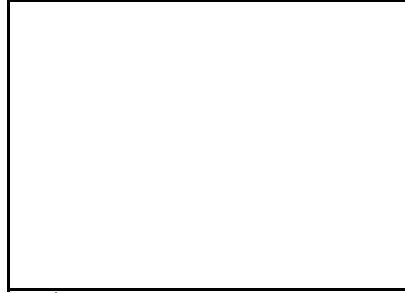


写真15

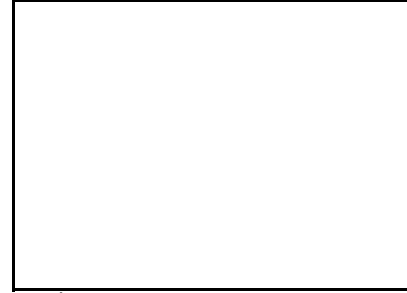


写真16